

平成27年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 静岡ガス株式会社  
 コード番号 9543 URL <http://www.shizuokagas.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 戸野谷 宏  
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレートサービス部 (氏名) 新家 博之 TEL 054-284-7990  
 経理担当マネジャー  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第3四半期の連結業績（平成27年1月1日～平成27年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第3四半期	114,300	△8.4	10,713	100.6	11,015	94.3	7,245	125.3
26年12月期第3四半期	124,826	10.1	5,339	8.5	5,667	10.2	3,215	27.7

(注) 包括利益 27年12月期第3四半期 7,994百万円 (98.4%) 26年12月期第3四半期 4,028百万円 (△16.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第3四半期	98.27	98.15
26年12月期第3四半期	43.61	43.59

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第3四半期	111,477	72,311	57.9
26年12月期	117,926	67,284	50.7

(参考) 自己資本 27年12月期第3四半期 64,553百万円 26年12月期 59,818百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	5.00	—	5.00	10.00
27年12月期	—	6.00	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成27年12月期の連結業績予想（平成27年1月1日～平成27年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	146,070	△12.3	10,530	83.0	11,040	84.1	7,180	146.8	97.38

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（詳細は、【添付資料】3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。）

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年12月期3Q	76,192,950株	26年12月期	76,192,950株
② 期末自己株式数	27年12月期3Q	2,464,080株	26年12月期	2,464,038株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年12月期3Q	73,728,905株	26年12月期3Q	73,728,988株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、最近の業績の動向等を踏まえ、平成27年8月5日公表の決算短信に記載した平成27年12月期（平成27年1月1日～平成27年12月31日）の通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考) 個別業績予想

平成27年12月期の個別業績予想 (平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	132,600	△13.4	8,650	180.4	7,140	161.2	96.84

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無：有

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
4. 参考情報	9
ガス販売量(個別)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期(平成27年1月～9月)の売上高は、前年同期に比べ8.4%減の1,143億円となりました。

一方、原料価格の低下がガス販売単価に反映されるまでのタイムラグによる影響等により、営業利益は前年同期に比べ100.6%増の107億円、経常利益は94.3%増の110億円、四半期純利益は125.3%増の72億円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、下記のセグメント別業績数値には、セグメント間の内部取引を含んでおります。

## ①ガス

ガス販売量は、家庭用及び工業用が減少したものの、業務用及び卸販売が増加したことなどにより、前年同期に比べ0.2%増の1,032百万m<sup>3</sup>となりました。

売上高は、原料費調整制度によるガス販売単価の下方調整等により、前年同期に比べ7.7%減の1,005億円となりました。一方、原料価格の低下がガス販売単価に反映されるまでのタイムラグによる影響等により、セグメント利益(営業利益)は74.1%増の121億円となりました。

## ②LPG・その他エネルギー

売上高は、LPG販売でのガス販売単価の低下等により、前年同期に比べ17.5%減の82億円となりました。一方、売上原価が原料価格の低下により減少したことなどから、セグメント利益(営業利益)は22.9%増の5億円となりました。

## ③その他

売上高は、設備工事の減少等により、前年同期に比べ11.2%減の93億円となりましたが、営業費用が減少したことなどから、セグメント利益(営業利益)は28.2%増の3億円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末における総資産は、LNG価格の低下に伴う原材料の減少や売掛金の減少等により、平成26年12月期末(以下、「前期末」という。)に比べ64億円減の1,114億円となりました。

負債は、「退職給付に関する会計基準」等の適用に伴い退職給付に係る負債が増加する一方で、短期借入金の返済やLNG価格の低下に伴う買掛金の減少などにより、前期末に比べ114億円減の391億円となりました。

純資産は、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加等により、前期末に比べ50億円増の723億円となり、自己資本比率は57.9%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期連結累計期間の業績を踏まえ、また第4四半期の原油価格及び為替レートの想定を見直したことなどにより、通期の業績予想を修正いたしました。この結果、売上高は1,460億円、営業利益は105億円、経常利益は110億円、当期純利益は71億円となる見通しです。

(参考) 原油価格・為替レートの想定

原油価格 (全日本CIF)	前回想定	62ドル/bb1 (第4四半期)
	今回想定	51ドル/bb1 (第4四半期)
為替レート	前回想定	125円/ドル (第4四半期)
	今回想定	123円/ドル (第4四半期)

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

退職給付に関する会計基準等の適用

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成27年3月26日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法をポイント基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を従業員の前平均残存勤務期間に対応する割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の利益剰余金が1,710百万円減少しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
固定資産		
有形固定資産		
製造設備	15,850	13,953
供給設備	38,378	36,987
業務設備	5,604	5,387
その他の設備	4,290	4,158
建設仮勘定	359	1,203
有形固定資産合計	64,483	61,689
無形固定資産	1,374	1,150
投資その他の資産		
投資有価証券	10,199	12,286
長期貸付金	8,535	8,395
繰延税金資産	454	414
その他投資	1,553	1,566
貸倒引当金	△129	△132
投資その他の資産合計	20,614	22,530
固定資産合計	86,471	85,370
流動資産		
現金及び預金	470	5,032
受取手形及び売掛金	14,588	10,303
商品及び製品	379	285
原材料及び貯蔵品	11,725	7,566
繰延税金資産	605	622
その他流動資産	3,728	2,334
貸倒引当金	△43	△38
流動資産合計	31,454	26,107
資産合計	117,926	111,477

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
固定負債		
長期借入金	16,267	13,434
繰延税金負債	1,093	336
退職給付に係る負債	1,908	4,005
その他固定負債	319	236
固定負債合計	19,588	18,013
流動負債		
1年以内に期限到来の固定負債	6,237	5,183
買掛金	11,209	7,824
短期借入金	7,237	15
未払金	1,486	2,806
未払法人税等	2,096	2,593
繰延税金負債	2	—
賞与引当金	452	1,057
その他流動負債	2,330	1,670
流動負債合計	31,053	21,152
負債合計	50,641	39,165
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,279	6,279
資本剰余金	4,626	4,626
利益剰余金	45,592	50,316
自己株式	△1,252	△1,252
株主資本合計	55,246	59,970
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,405	4,642
繰延ヘッジ損益	—	△18
為替換算調整勘定	—	△206
退職給付に係る調整累計額	167	165
その他の包括利益累計額合計	4,572	4,583
新株予約権	34	71
少数株主持分	7,431	7,686
純資産合計	67,284	72,311
負債純資産合計	117,926	111,477



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
売上高	124,826	114,300
売上原価	99,759	83,783
売上総利益	25,066	30,516
供給販売費及び一般管理費	19,726	19,803
営業利益	5,339	10,713
営業外収益		
受取利息	119	119
受取配当金	91	100
負ののれん償却額	21	—
持分法による投資利益	170	16
雑収入	217	318
営業外収益合計	619	554
営業外費用		
支払利息	279	222
雑支出	11	30
営業外費用合計	291	252
経常利益	5,667	11,015
特別利益		
固定資産売却益	—	526
特別利益合計	—	526
税金等調整前四半期純利益	5,667	11,541
法人税等	1,733	3,558
少数株主損益調整前四半期純利益	3,934	7,982
少数株主利益	718	736
四半期純利益	3,215	7,245

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,934	7,982
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	100	237
繰延ヘッジ損益	△6	△18
退職給付に係る調整額	—	△1
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△206
その他の包括利益合計	93	11
四半期包括利益	4,028	7,994
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,309	7,256
少数株主に係る四半期包括利益	718	737

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、第1四半期連結会計期間の期首より、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更しております。これに伴う影響については、「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照下さい。

(セグメント情報)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	ガス	LPG・ その他 エネルギー	計				
売上高							
外部顧客への売上高	108,066	9,743	117,810	7,015	124,826	—	124,826
セグメント間の内部 売上高又は振替高	932	314	1,247	3,484	4,732	△4,732	—
計	108,999	10,058	119,057	10,500	129,558	△4,732	124,826
セグメント利益	6,990	459	7,449	288	7,738	△2,398	5,339

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、受注工事及びガス機器販売事業、リフォーム事業、リース事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額△2,398百万円には、セグメント間取引消去191百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,590百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	ガス	LPG・ その他 エネルギー	計				
売上高							
外部顧客への売上高	99,675	8,119	107,795	6,505	114,300	—	114,300
セグメント間の内部 売上高又は振替高	878	176	1,055	2,815	3,870	△3,870	—
計	100,553	8,296	108,850	9,320	118,171	△3,870	114,300
セグメント利益	12,169	564	12,734	370	13,104	△2,391	10,713

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、受注工事及びガス機器販売事業、リフォーム事業、リース事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額△2,391百万円には、セグメント間取引消去188百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,580百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 4. 参考情報

## ガス販売量(個別)

		前第3四半期 (26/1~26/9)	当第3四半期 (27/1~27/9)	増減	増減率(%)	
お客さま数		戸	314,995	315,730	735	0.2
ガス 販 売 量	家庭用	百万m <sup>3</sup>	68	67	△1	△1.5
	商業用	〃	27	27	0	0.7
	工業用	〃	489	471	△18	△3.6
	その他用	〃	25	25	1	2.4
	卸供給	〃	410	430	21	5.0
	合計	〃	1,018	1,021	3	0.3
大口販売量		〃	483	466	△18	△3.6

- (注) 1 「お客さま数」は、期末取付メーター数を記載しております。  
 2 「お客さま数」には、卸供給先のお客さま数は含みません。  
 3 販売量は1m<sup>3</sup>当たり45MJ換算し、表示単位未満を四捨五入しております。